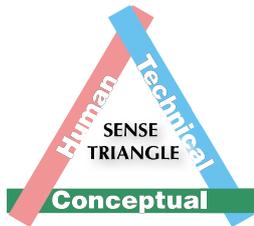


みんなで創る研修所

研修をもっと身近に、もっとみんなで



けんしゅう

令和7年
1月発行

No. 128

宮城県市町村自治振興センター・宮城県市町村職員研修所
〒981-3341 富谷市成田二丁目 22 番地 1 (東北自治総合研修センター内)
TEL: 022-351-5781 FAX: 022-351-5780 E-mail: moushikomi@thk-jc.or.jp
http://www.thk-jc.or.jp/sityouson/index.html

さらなる成長を目指して ～「新規採用職員研修」、427名が修了～

去る10月～12月の3ヵ月間、研修所では、採用半年を過ぎた県内自治体（仙台市除く）職員を対象に、新規採用職員研修を実施しました。修了者はA～Fの全6日程で427名。職員として必要な知識・技能を学び直した皆さんは、この春「先輩職員」になります。



「所長講話」の様子（11月19日）〈写真・上段3枚〉

「CS理論と
（11月1日）
（写真・右）」



研修風景



「地方自治のしくみ」（10月30日）〈写真・上2枚〉

新規採用職員研修・受講者の声

（※受講後アンケートより一部変更抜粋）

- 苦手意識を持っていた法律、コミュニケーションなどについて学ぶことができた。復習しながら担当業務を完璧にこなせるよう努める（T町）
- 今後はさらに住民に信頼してもらい、協働していくため視野を広げながら職務に当たりたい（O市）

集合研修の醍醐味「懇親会」



ピュッフエスタイルのお料理を楽しむ皆さん
（10月15日 食堂）

懇親会は、他自治体の職員と交流できる貴重な機会



初登壇・市町村職員講師の声

自治体研修指導者の皆さんが、各科目に講師登壇しました。初登壇のお2人から感想が寄せられました。



【地方公務員制度】

相澤なぎささん（名取市）
「パワーポイント資料の文字の見やすさなど心がけました。受講者の皆さんは、よく考え、よく話し合うことができていたと思います」（10月30日）

【公務員としての使命】

菊地佳彦さん（名取市消防署）
「受講した皆さんのこれからの活躍を願いつつ、私もこの経験を活かせるように精いっぱい自らの役目を果たしていこうと思います」（12月3日）

時代の潮流『メガトレンドセミナー』開催

毎年恒例の『メガトレンドセミナー』（東北自治研修所・宮城県公務研修所・宮城県市町村職員研修所 3 機関合同主催）が開催されました。「メガトレンド」とは「時代の大きな潮流」の意。今回は「デジタル時代の人口減少社会における自治体経営」と題して、辻 琢也（つじたくや）さん（一橋大学大学院法学研究科教授）が登壇。環境が激変する中、これからの自治体の在り方について講演しました。セミナーは本会場のほかオンラインで配信され、東北6県の多くの自治体職員が熱心に受講しました。（1月7日 宮城県庁講堂）

熱心に聞き入る会場の皆さん



これからの自治体経営・人材育成の展望を語る辻 琢也氏



研修所 de パチリ! ③

当センター「研修運営審議会」に諮問



宮城県市町村自治振興センターでは、管理者の諮問に応じ、研修の企画・実施に関する重要事項を調査審議するため、附属機関として、市町村等代表者による審議会を設置しています。委嘱状交付の後、管理者代理として研修所長から会長に諮問書が渡され、来年度の研修計画などの審議を進めました。（昨年 11 月 14 日 会議室）

委員の皆さん（順不同・敬称略） ★会長 ☆副会長

気仙沼市総務部人事課長	藤村 克郎
白石市総務部総務課長	佐藤 祐子
岩沼市総務部参事兼総務課長事務取扱★	大元 利之
栗原市総務部人事課長	蓬田 親博
川崎町総務課長	佐藤 邦弘
山元町総務課長	大橋 邦夫
七ヶ浜町総務課長	藤井 孝典
涌谷町総務課長☆	高橋 貢
宮城県総務部市町村課長	黒澤 治
宮城県町村会総務・事業課長	石垣 裕一

（任期 2024.9.1～2026.8.31）

昨年9月1日現在

シリーズ【研修事始(けんしゅうことはじめ)】 ③

～ コミュニケーションに不可欠な「自己理解」～

先般、公務員志望の高校生の皆さんと学び合う機会をいただいた。コミュニケーション講座の一環で、テーマは「自分を知る」。人間関係を構築するには、相手を理解し受け入れることが求められる。そのため、まず自分を知ることが必要だ。なぜなら、自分の「当たり前」は相手の「当たり前」ではないからだ。コミュニケーションはキャッチボールにも喩えられる。ボールを受け取れない相手を嘆く前に、相手が受け取れるボールを投げているか、ということである。

放課後、自らの意思で受講された「将来職員」の皆さん。夢が叶い、また笑顔でお会いできることを念じて 調査研究員 本田 幹枝

ご案内・お知らせ

■「事後科目検討会」の開催

今年度新規採用職員研修で講師を担当した皆さんを対象に標記会議を開催します。科目ごとに今年度を振り返り、次年度に向けて検討を行います。

・とき 2月3日(月)

■「研修担当課長会議」の開催

令和7年度の研修計画の概要や予算などについてご説明します。

・とき 2月18日(火) 13:30～

編集後記



■ 巳(み)年には「粘り強さがある」という特徴があるそうです。全員が満足する研修という難問に対し、粘り強く考え、少しでも良い研修を届けられるよう努力してまいります(優) ■ 「自治体経営とは将来住民の選択肢を奪うことなく現在の住民ニーズに対応するため、限られた資源を有効に使うこと」とある。翻って職員研修の目的に問うてみる。その成果は「将来職員」の期待に応えられているのかと(幹)